

九大病院だより

Public Relations Magazine of Kyushu University Hospital 2010.05



九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

■地域医療連携センターのご紹介

外来診療棟1階西側の右奥に位置する地域医療連携センターでは、以下のようなご相談を受け付けています。

社会福祉相談窓口では、医療費の支払いや療養を継続するための生活費など、経済的な心配のある患者さんへ公的な支援の利用方法や担当機関を紹介しています。また、介護保険や身体障害者手帳をお持ちの方などに社会福祉制度の利用について、社会福祉士がご相談を受けています。

在宅療養支援室では、専任の看護師が退院後の療養生活・社会生活に関する不安や心配のある患者さんのご相談を受けています。他の医療機関や施設などへの転院、または入所が必要な場合には、地域の医療機関等のご紹介を行います。九州大学病院の外来通院を継続中で、在宅療養指導管理を受けている患者さんへ必要な医療材料のお渡しや、使用する医療機器の管理などを含めた療養指導を行っています。

その他に、外国人の方や在外日本人の方の診療に関連した窓口となる国際医療連携室も当センターの部門です。英語、韓国語、中国語な



どの通訳ボランティアの方の登録を

行っていますので、急な受診で通訳の方が必要な患者さんは、支援を依頼することができます。

これらのご相談は、月曜日から金曜日の9:00-16:30まで受け付けています。時間内は、外来患者さんを優先的に対応し、入院中の患者さんのご相談は、時間調整をしたうえで病棟に出向いて対応しています。下記の電話番号までご連絡いただくか、緑の看板を目印におたずねください。



お問い合わせ

◎社会福祉相談窓口 TEL 092-642-5167 ◎国際医療連携室 TEL 092-642-5166
◎在宅療養支援室 TEL 092-642-5185 [地域医療連携センター直通] FAX 092-642-5155

コラム
Column



揺るぎ無き信念と 日々の精進

脳神経外科長

さ さ き と み お
佐々木 富男

Tomio Sasaki

日本の政界が旧来の自民党から民主党へと政権交代を行ったように、大きな改革・改善を成し遂げるには、大きな変化が必要となります。しかしながら、その変化が正しいものであるかどうかは結果が出るまで分からないでしょうし、一方では変わらない事の大切さがあるというのも事実でしょう。

昨今の医療界を取り巻く環境は、医療制度改革や研修医制度の導入など、めまぐるしい変化を起こしていますが、我々は医療の本質を見失うことなく、地に足をしっかりとつけ、地域に根差した医療の実践と水準の高い医療を提供できるように、日々努力を怠らずに取り組んでいくことが肝要だと考えます。

我々の教室でもそういう理念に基づき日々精進することで、少しずつ、しかし着実にその成果が表れていることを実感しうれしく思っています。また、今後の医療を担っていく若い先生には、日本そして世界を目指してその夢を実現できるようにと叱咤激励を行っています。

期が熟して、やがて大きな花を咲かせてくれることを楽しみに期待しています。

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

顔面口腔外科(—口腔顎顔面外科2)

口腔(こうくう:口の中)には口腔粘膜や顎骨(かくこつ:あごの骨)の炎症、外傷、腫瘍、のう胞、先天あるいは後天異常などさまざまな疾患が生じます。当科では日本口腔外科学会認定の指導医4名、専門医5名を中心に、これら全ての口腔疾患に対して最新医療を行う体制を整えています。

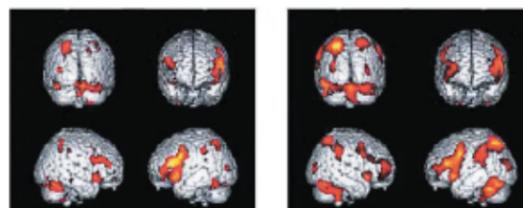
さらに、重点疾患である口唇・口蓋裂(こうしん・こうがいれつ)、顎変形症、口腔悪性腫瘍に対しては専門診療チームを設け、診療を行っています。口唇・口蓋裂は出生直後から成人に至るまでの一貫治療を行い、顎口腔機能と望ましい顔の形の獲得に努めています。

顎変形症には矯正歯科と連携して、咬みあわせや骨格の形成だけではなく、顔の形の変化に留意した治療を行っています。口腔悪性腫瘍に関しては75%以上の5年生存率を維持しています。また、歯科インプラントの基盤となる顎骨の再生治療開発も行っています。

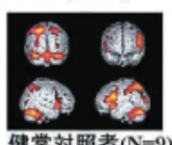


▶▶▶ 診療科のご案内 ②

精神科神経科



fMRIによる脳活動測定の結果、行動療法や薬物療法による治療後、強迫性障害患者の頭頂葉や小脳の活動は増加し、健常対照者の活動パターンに近いものとなった。



当科は、統合失調症、気分障害、認知症、不安障害などの精神疾患一般の診断と治療を行っています。特に、統合失調症の初期診断、難治性気分障害や難治性強迫神経症の治療に力を入れていて、専門外来を設置しています。その他、てんかん、認知症の専門医がそれぞれ専門外来を受け持っています。

九州大学病院に入院している方を対象とした院内相談(コンサルテーション・リエゾン)、そして移植医療やがん医療における精神医学的相談に力を入れています。

入院病棟では、精神疾患をもつ患者さんが合併する糖尿病や骨折などの身体疾患の治療や精神鑑定も積極的に行っています。

また、当科と連携して診療にあたっている「子どものこころの診療部」は、大学病院では数少ない児童精神医学専門の診療部です。周産期医療、小児医療とも連携して先進的な取り組みをしています。

第4回 家庭でできる健康管理

ぽっこりお腹は要注意!

健康科学センター 健康科学第二部門 一宮 厚

最近話題のメタボリックシンドローム(代謝症候群)は、腹囲(お腹周り)が大きいことを重視しています。男性で腹囲85cm以上、女性で90cm以上ある方は[※]、内臓に脂肪がつく「内臓脂肪型肥満」の可能性が高いとされています。内臓についた過剰な脂肪が高血圧、高脂血症や糖尿病を引き起こし、引いてはがん、脳卒中、心臓病など深刻な生活習慣病へとつながることがわかっています。見た目や体重がそれほどなくても、「ぽっこりお腹」の人は注意が必要です。では、ぽっこりお腹をへこますには、どうすればよいのでしょうか?

肥満には、生活習慣が関係しています。長年の習慣を変えるのは、大変だと感じる方もいらっしゃるでしょう。でもあまりむずかしく考えずに、ちょっと生活を見直すことから始めてみませんか? ポイントは、食べ過ぎと運動不足に気をつけることです。

例えば、食事では「腹八分目にする」、「よくかんで食べる」、「甘い飲み物をお茶に変える」、運動

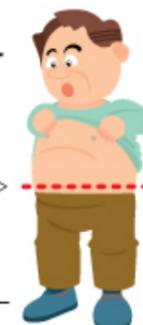
では「歩く(バス停ひとつ分など)」、「3階までは階段を使う」などです。

何か始めたら、体重や歩数などの記録をつけてみてください。目安になるものや振り返るものがあると、続ける力になりますよ。食事や運動も、自分にあったやり方を見つけて、楽しんで実行できるようにしなければいけません。

[※]厚生労働省研究班などによる最近の研究結果を踏まえて、腹囲の基準は近いうちに大きく見直されることになりそうです。特に、女性の基準は80cm程度へと大幅に下がる見通しです。

腹囲の測り方

おへその高さで、お腹の周りをぐるっと測ります。



九州大学健康科学センター

別府先進医療センターのご紹介

病診連携室



別府先進医療センター病診連携室では、患者さん(ご家族)のさまざまな医療・福祉に関する総合相談窓口として、また地域医療機関等との窓口として、MSW(医療ソーシャルワーカー)、事務(患者サービス係)、その他看護師などが協働しながら院内外の関係機関と緊密で効果的な連携を展開しています。

高度先進医療を担う本院と地域医療機関、介護施設等が連携を深め、患者さんに満足いただける医療提供を目指して、診療連携業務をはじめ、MSWの配置、医療福祉相談・在宅療養支援業務を行っています。

病診連携室は患者さん(ご家族)と本院・地域医療機関との「かけはし」となるよう迅速で信頼される病診・病病連携業務を行っています。

今後もお気軽に病診連携室をご活用ください。

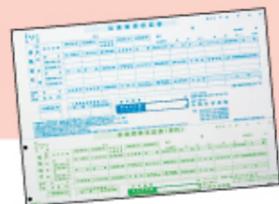
■ 診療費用が変わりました

受診される皆さまへ

保険医療機関における病気やけがの治療や検査、薬等に関する医療費は、診療報酬と呼ばれる公定価格で、2年に1回程度改定されます。今回、平成22年4月にその改定が行われ、医師等の技術料等が+1.55%、薬や材料価格が-1.36%、全体で+0.19%の引き上げとなりました。会計窓口でのお支払金額が多少変わる方がおられると思いますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

公費受給者の皆さまへ

平成22年4月分から、診療報酬明細書(レセプト)の記載方法も改定されました。九州大学病院の外来で複数の診療科を受診した場合、今までは、診療科ごとに個別のレセプトで保険請求していましたが、今回の改定で、患者さんごとに1枚のレセプトで請求することになりました。それに伴い、福岡県内にお住まいの方で、右記A群とB群のいずれかの医療証の組み合わせを持つ患者さんの場合、今まで外来でのお支払いが無かった方でも、4月より費用が発生する場合がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



A群

- ・特定疾患医療受給者証
- ・小児慢性特定疾患医療受給者証
- ・自立支援医療(更生医療)受給者証
- ・自立支援医療(育成医療)受給者証
- ・自立支援医療(精神通院)受給者証

B群

- ・乳幼児医療証
- ・重度心身障害者医療受給者証
- ・ひとり親家庭等医療証

*特定疾患等(A群)に該当する診療と、それ以外での診療が混在した場合、今までは、特定疾患等(A群)の使えない診療科分は、乳幼児医療証等(B群)で請求していましたが、今回の改定でできなくなりました。特定疾患等(A群)に該当しない分の診療費は、患者さんのお持ちの健康保険証の負担割合に応じてお支払いいただき、後日、お住まいの市区町村で払戻しの手続きをお願いいたします(お住まいの市区町村の制度により異なります)。

※払戻しの詳細については、お住まいの市区町村へお問い合わせください。



■演劇ボランティアさんが公演を行いました

小児医療センターでは、3月31日に「あなざ事情団」による観客参加型の演劇公演が行われました。

今回の公演はチェーホフの代表作『三人姉妹』をもとにリメイクしたお話で、デイルームの真ん中に1.5m四方の演技エリアを作り、患者さんたちが周りを取り囲む形で行われました。

小さな子どもさんたちには少し難しい内容だったかもしれませんが、皆で役者さんたちの持ったクス玉を割るシーンでは大いに盛り上がり、歓声が上がっていました。



■外来診療日一覧

- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
- 初診受付時間 8:30-11:00 (自動再来受付機 8:15-17:00)
- 外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■外来診療棟

| 階/受付 | 診療科名 | 初診日 | 再診日 |
|--------|---|-----------------------------------|----------------------|
| 4階/西 | 心療内科 TEL 642-5335 | 月・木 | 火・水・金 |
| | 呼吸器科 TEL 642-5388 | 月・水・金 ※要紹介状 | 月・火・水・金 |
| | ■外科 ◎消化管外科(1)◎胆道、膵臓、膵臓移植・腎臓移植外科 ◎呼吸器外科(1)◎乳腺外科(1) ◎内分泌外科 TEL 642-5453 | 火・木 | 火・木 |
| | ■外科 ◎消化管外科(2)◎肝臓、脾臓、門脈、肝臓移植外科 ◎呼吸器外科(2)◎乳腺外科(2) ◎血管外科 TEL 642-5479 | 月・水・金 | 月・水・金 |
| 4階/東 | 先端工学診療部 TEL 642-5993 | 月・水・金 | 月・水・金 |
| 4階/東第2 | 産科婦人科 TEL 642-5409 | 月～金 ※産科以外の科別 | 月～金 |
| | ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 642-5719 | 月・火・水・金 | 月～金 |
| 4階/東第2 | 再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361 | 月～金 | 月～金 |
| 3階/西 | ■内科 ◎血液・腫瘍内科 ◎免疫・膠原病・感染症内科 ◎消化管内科◎腎・高血圧・脳血管内科◎内分泌代謝・糖尿病内科◎肝臓・膵臓・胆道内科 ◎先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302 | 月～金 ※曜日によっては専門医が診療できない場合があります。 | 月～金 |
| | ■ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371 ③心血管外科 TEL 642-5565 | ①月～木 ②火～金 ③月・水・木 | ①月・水 ②火～金 ③水・木 |
| 3階/東 | 皮膚科 TEL 642-5597 | 月・水・金 ※要紹介状 | 火・木 |
| | 耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681 | 火・木 | 月・水・金 |

| 階/受付 | 診療科名 | 初診日 | 再診日 |
|--------|---|-------|-------|
| 2階/西 | 神経内科 TEL 642-5349 | 火・木・金 | 月・水 |
| | 脳神経外科 TEL 642-5533 | 月・水・金 | 月・水・金 |
| 2階/西第2 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 642-5615 | 火・木 | 月・水・金 |
| | 精神科神経科 TEL 642-5640 子どものこころの診療部 TEL 642-5642 | 火・木 | 月～金 |
| 2階/東 | 眼科 TEL 642-5660 | 月・水・金 | 月～金 |
| 1階/西 | 整形外科 TEL 642-5504 | 月・水・金 | 金 |
| | 放射線科 TEL 642-5705 | 月・水・金 | 月～金 |
| | 総合診療科 TEL 642-5300 | 月～金 | 月～金 |
| | | | |

| 棟 | 階 | 診療施設等 | 電話番号 |
|---------|------------|---------------|----------|
| 外来診療棟 | 4階 | ストーマ看護外来 | 642-5479 |
| | 4階 | 助産師外来 | 642-5900 |
| | 3階 | 糖尿病フットケア外来(※) | 642-5302 |
| | 2階 | 外来化学療法室・緩和ケア | 642-5125 |
| | 2階 | がん相談支援室 | 642-5200 |
| | 1階 | 総合案内 | 642-6270 |
| | | 外来受付 | 642-5138 |
| | | 入院案内 | 642-5150 |
| | | 公費申請窓口 | 642-5153 |
| | | 支払窓口 | 642-5169 |
| 患者様相談窓口 | | 642-5132 | |
| 南棟 | 地域医療連携センター | 642-5165 | |
| | 社会福祉相談窓口 | 642-5167 | |
| | 在宅療養支援室 | 642-5185 | |
| | 高度先端医療センター | 642-5858 | |
| | 2階 栄養相談室 | 642-5180 | |
| 1階 | 時間外受付 | 642-5163 | |
| 1階 | リハビリ受付 | 642-5862 | |

■北棟

| 階/受付 | 診療科名 | 初診日 | 再診日 |
|------|-----------------------------|---------------------------|-------|
| 5階/西 | 小児科 TEL 642-5430 | 月～金 専門医が診療できない場合があります。 | 月～金 |
| | 小児外科、小腸移植外科 TEL 642-5578 | 月・水・金 | 月・水・金 |
| | 臨床遺伝医療部 TEL 642-5421 | 月～金 | 金 |
| | 小児歯科 TEL 642-6465 | 月～金 | 月～金 |
| 5階/東 | 矯正歯科 TEL 642-6460 | 月～金 | 月～金 |
| | 全身管理歯科 TEL 642-6483 | 月～金 | 月～金 |
| | 顎口腔外科 TEL 642-6445 | 月～金 | 月～金 |
| | 顔面口腔外科 TEL 642-6450 | 月～金 | 月～金 |
| | 歯科麻酔科 TEL 642-6479 | 月～金 | 月～金 |
| 4階/西 | 歯周病科 TEL 642-6425 | 月～金 | 月～金 |
| | 歯内治療科 TEL 642-6430 | 月～金 | 月～金 |
| | 咬合補綴科 TEL 642-6435 | 月～金 | 月～金 |
| 4階/東 | 義歯補綴科 TEL 642-6440 | 月～金 | 月～金 |
| | 歯科総合予診 TEL 642-6500 | 月～金 | 月～金 |
| | 口腔画像診断科 TEL 642-6471 | 月～金 | 月～金 |
| | 口腔総合診療科 TEL 642-6490 | 月～金 | 月～金 |

平成22年5月現在

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。(市外局番は「092」です)
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の表示がない場合には、保険の取扱いができません。

外来患者さんへ

- ◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
- ◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので出来るだけ公共の交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②プライマリ・ケア診療の充実
- ③全人的医療が可能な医療人の養成
- ④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ⑤国際化の推進